# 世田谷稲門会会報

平成26(2014)年4月20日
第 55 号
発行 世田谷稲門会
発行人 岩上 健一
編集 島田 實一
榎並 俊一
寺島 邦夫
兼子 信子
江原 利次
大内 秀行
若林 昭男
鷲巣 俊子
事務局
神奈川県川崎市中原区新丸子東3-1100-12 M2209
TEL/FAX 044-433-9202
林 馨（はやし かおる）


## 世田谷稲門会第23回定時総会開催

### 人工心臓の権威、梅津光生教授が講演

### 6月15日(日)午後5時より

世田谷稲門会の第23回定時総会が西新宿にあるハイアットリージェンシー東京（新宿駅西口より徒歩9分、地下鉄丸ノ内線西新宿駅より徒歩3分）にて午後5時から開催されます。ホテルまでの送迎バスは新宿駅西口小田急ハルク前35番から出ます。

講演会は人工心臓の権威である早稲田大学理工学術院総合機械工学科教授、梅津光生氏に「**早稲田大学 TWIns（ツインズ）における先進医療への挑戦**」と題してご講演をいただきます。お楽しみください。

**梅津光生（うめづみつお）教授からのコメント**

東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設（TWIns）が2008年4月に創設されたことは、私個人としては永年の夢がかない、大変嬉しく思います。

東京女子医大の故榊原仟教授の作られた、心臓病治療の専門センターの地下動物実験室において、私は40年前、早大の機械工学の大学院生としてそこで人工心臓の共同開発研究をする機会を得ました。

当時は医工連携という言葉がない時代でしたが、私を温かく迎え入れて下さり、実験室のみならず、臨床の現場である手術室、ICUにも出入りを許可して下さり、思う存分データを採り、臨床に役立つ実践研究をすることができました。

このような壁無しの懐の深い環境をTWInsで再現しつつありますので、その状況を紹介したいと思います。ここが世界のリーダーを輩出していく場となるものと確信しております。

総会の詳細については同封の別紙「第23回定時総会のご案内」をご参照ください。

是非皆様のご出席をお待ちしております。なお、当日ご出席いただけない場合は、同封の委任状（返信用はがき）にご記入・ご署名のうえ、ご返信くださいますようお願いします。

**総会の会費は8000円です。**

## レディースクラブ 発足記念パーティ開催

平成26年1月21日(火)。青山ロビンズクラブにて世田谷稲門会レディースクラブの発足記念パーティが開かれました。この会は、女性会員と女性ファミリー会員相互の交流と親睦を目的としたものですが、もちろん男性の参加もOK、ということで、当日の参加者49名の内訳は次のとおりでした。女性会員21名。女性ファミリー会員17名。男性会員11名。

会は、岩上健一世田谷稲門会会長の「フレーフレーレディースクラブ」の熱いエールから始まり、次いで、柏良子代表世話人が準備から発足までの紆余曲折のみちのりを紹介。辻村ひろみ副代表世話人の音頭による乾杯となりました。

美味しい食事を楽しみながら、参加者一人ひとりの自己紹介。「これからは夫に代わって私が大いに楽しむ番よ」「早稲田にいたときはレディーとして扱ってもらえなかった。早稲田の男も成長したもの」など、爆笑あり、うんうんと頷く人あり、で、座は一気に盛り上がり、デザートが運ばれてくる頃には、みなさん、すっかりうちとけました。

第2部は、レディースクラブ応援団長でもある露木茂さんのトーク。新聞・テレビでは窺い知ることのできない政界裏話などを興味深く拝聴しました。

最後は、榎並俊一カメラマンの誘導により、全員で記念撮影。3時間があっという間に過ぎ、いつまでも別れがたい雰囲気でしたが、寺澤宣子副代表世話人の閉会の挨拶により幕を閉じたのでした。

（篠崎 章子／記）

# 大雪にもめげず大盛況、新春懇親会
## 「神の手」福島孝徳博士が講演

### 139名が集合

平成26年2月9日（日）、恒例の新春懇親会が新宿のハイアットリージェンシー東京のクリスタルルームで開催された。前日は45年に一度という大雪に見舞われ、当日も街路のあちこちに雪の塊が積み上げられているという悪条件にもめげず、元気に集まった参加者は講師・ゲストも含め、139名。

榎並俊一さん（昭46・理工）の司会により、第一部は岩上健一会長の挨拶で開幕。「今年も世田谷稲門会がますます発展して会員同士がさまざまな活動を通じて親睦を深めると共に、社会貢献・社会参加についても考えていきましょう」との前向きな言葉であった。

### 脳ドックの大切さ

続いて、「神の手を持つ男」と言われている脳神経外科医・福島孝徳博士による「21世紀の脳神経治療―脳ドックで脳を守ろう」と題した講演が行われた。

講演する福島孝徳先生

膨大な手術経験に基づく「小さいうちなら脳の病変部は完全に取ることができ、完治する」という力強いお話に安堵すると同時に、脳ドックの大切さを感じた人も多かったようだ。

また、「脳細胞は1日に10万個ずつ死滅するが、一生かかっても全体の1割ぐらいなので実際には問題ない。しかし、たばこを吸う人は1日に30万個、深酒をすると100万個死滅する」という愛煙家や酒好きにとっては怖いお話もあった。

### 働くことが若さの秘訣

1942年生まれとはとても見えない福島博士の驚異的な若々しさの秘訣は「365日、懸命に働く」ことだとか。脳の働きは年齢にかかわらず、使えば使うほど良くなり、使わなければ衰えるので、健康で若々しくいるためには心身を総動員して「働く」ことが最も良いということである。

むろん「働く」とは狭い意味での仕事だけではない。たとえば稲門会の多彩な活動などもそれに適していると言えるのではないだろうか。

### 「聖者の行進」で練り歩く

第二部は井澤幹事長の挨拶、来賓代表の23区支部長渡邊直幸さんの挨拶や新人紹介の後、保倉進さん（昭25・法）の音頭で乾杯、運ばれてくる料理をいただきながら「Drフクシマと東京オールドボーイズジャズバンド」による演奏を堪能した。福島博士の担当パートはドラムス。華麗なスティックさばきには、思わず手術の手さばきを連想させられるものがあった。

Drフクシマと東京オールドボーイズ

博士は学生時代から寺島邦夫さん（昭38・政経）と一緒に「早稲田大学ニューオルリンズ・ジャズクラブ」で活動しており、その縁で今回の講演および公演となったのである。盛り上がった会場では、行進しながら演奏する「聖者の行進」のリズムに乗って長い列が練り歩いた。

思い思いに懇談するかたわら福引会も行われ、しばし、ささやかな期待を楽しんだ。最後は池田友彦さん（昭62・文）のリードで「都の西北」を斉唱、宴の幕を閉じた。生バンドの伴奏による校歌斉唱とは何とも贅沢なことであった。

（鷲巣　俊子／記）

レディースクラブに囲まれる福島先生

講演会会場

福引抽選会

# ブロック会だより

## 千 歳

年2回、春と秋に定例の懇親会を開催しています。

平成26年の第1回は4月19日(土)に開催します。懇親会に先立ち、午後3時に烏山区民センター(千歳烏山駅北口）に集合し、春爛漫の烏山寺町を散策します。烏山寺町は関東大震災で移転してきた26か寺が軒を連ね、昔ながらの静かなたたずまいを残す地域です。有名人の墓も多く、小京都と呼ばれています。午後5時からイタリアンレストラン「アルターナ」(京王線・千歳烏山)にて懇親会を開催します。会費 5,500 円(懇親会費5,000円、年会費500円)です。

見学会及び懇親会には家族同伴も呼びかけ、より多くの方々が参加できるよう努めていきます。

(戸田　昇 / 記)

## キャロット

平成25年11月30日(土)午後4時30分より、三軒茶屋の「坐和民」においてキャロット会の忘年会が青木明彦、青木誠司、井口昭、遠藤智、風間譲、加藤隆夫、川井泰彦、西喜永治、下山芳男、富塚兆弥、中井盛久、長谷川義樹、花田玲子、東直彦、星野裕、森昌治、守谷之男、(以上あいうえ順。敬称略）の総勢17名で開催されました。テーブル席で和気藹々歓談しました。

5月の土曜日に人形町で芳町芸者衆による踊りやお座敷遊びを体験する予定です。他のブロックの方の参加も歓迎します。

7月2日(水）の夜は赤坂の「バルバラ」でキャロット会の花田玲子さん弾き語りライブを楽しむ予定です。ご希望の曲は花田さんにご連絡下さい。

毎年恒例の忘年会は 11 月 29 日(土)夕刻から三軒茶屋のスカイキャロットで立食形式で開催の予定です。

(富塚　兆弥 / 記)

## きぬた

平成25年11月30日に本年度第2回目の企画として、静嘉堂文庫美術館の見学と懇親会を行いました。美術館では「幕末の北方探検家松浦武四郎」展を開催中であり、一同学芸員の方のお話に耳を傾けながら興味深く一点一点展示品を見て回りました。

松浦武四郎は「北海道の名付け親」として有名ですが、アイヌ民族研究の先駆けとして注目されるとともに考古遺物のコレクターとしても知られています。今回は静嘉堂の所蔵する幻のコレクションの初公開とのことで、またとない機会になりました。

見学の後、静嘉堂文庫のある岡本から懇親会場のある二子玉川に向けて住宅街を散策しました。途中、旧砧線の軌道跡の碑も見ることが出来ました。懇親会は維新號にて本部から井澤幹事長、横田副会長にも参加頂き、13名で中華料理に舌つづみを打ち、時を忘れ楽しいひと時を過ごしました。次回の行事は4月26日に富永孝子さん(昭30文)の講演と食事会をNHK青山荘にて行う予定にしています。

(畔上　孝夫 / 記)

## さくら

第36回さくら会懇親会は、平成26年3月2日11時30分～14時まで三軒茶屋の銀座アスターで開催しました。

当日は22名の会員が参加され、中華料理を楽しみながら次のような手順で懇談会を行いました。岩上健一会長の挨拶、鈴木宏治部会担当の活動状況の説明、近藤さんの乾杯の音頭、新参加の小口浩一さんの自己紹介、希望者によるスピーチ、早稲田大学オープンカレッジへの勧誘案内と太極拳講座の実演、河内さんの閉会の挨拶と校歌の斉唱、記念写真の撮影で解散となりました。

(江原 利次 / 記)

## けやき

平成25年度けやき会最後の第4回懇親会が、去る1月25日に開かれました。

上町にある隠れ家的存在のプチフレンチレストラン“ボナペティ”に10時45分に集合し、美味しいフランス料理を会食した後、そこから歩いて約10分で区立教育センターに着きプラネタリウムを見学しました。今回は、珍しい催しでもあり、寒い時期にも関わらず20名が参加しました。ここは、星数がなんと1億4千個もあるんです。これは世界最多とのこと。参加者は、現実の世界から離れて、素敵な星空と美しき南極の旅を楽しみ、しばし悠久の世界に浸ったひとときでした。 (小倉 光雄 / 記)

## 玉 川

平成26年1月26日(日)午後12時より玉川会新年会を田園調布倶楽部で開催しました。

本部から岩上会長と熊谷ブロック担当幹事お二方のご出席を頂き、出席者は会員33名、夫人9名、女性会員のご主人1名(準会員)の計45名と、過去の玉川会イベントで最多の参加者でした。林さんの司会で開会、井澤代表世話人の挨拶、岩上会長のご挨拶、江口瞳さんによる乾杯の発声と続き、当店自慢の美味しいイタリアンを賞味するランチタイムに入りました。懇談が進む中、熊谷幹事にご挨拶をいただき、高橋さんによる玉川会の年間行事予定の発表、林さんからの本部報告がありました。余興はプロのシャンソン歌手の河津延樹さんによる歌の披露で、「千の風になって」と「見上げてごらん夜の星を」の2曲を山本厚子さんのピアノ伴奏で歌っていただきました。デザートタイムに席替えを行い会は更に盛り上がり、楽しい一時となりました。

最後に岩沙さんに締めのご挨拶をいただき、2時半にお開きとなりました。新年会は会員増加も手伝って年々盛会となっていて、世話人一同大変喜んでいます。

玉川会では新しい試みとして、2月18日(火)玉川区民会館にてワインセミナーを開催しました。

(詳細はHP参照) (太田 隆 / 記)

## 西 北

「恒例の“初詣・新年会”実施」

年も明けた平成26年1月7日(火)17時から17名の会員が地元の北澤八幡神社本殿前に集結し、初詣を行った。本殿内では西北会会員でもある宮司から祈祷を受け、その後本年の国運占いを教示された。それによると“表面は良く見えても内側、内面に苦労・苦難が多くなりそう”とのこと。“今は小さなことを堅実・着実に行うことが大切”とありがたいお言葉を頂戴した。会員皆、家庭円満を願った厳かな気持ちを抱きながら神社を後にして下北沢南口の新年会会場「新生丸」へ向かった。柏代表の新年の挨拶のあと前原長老の乾杯の発声で一気に宴会モード突入。あちこちで箱根駅伝など年末年始イベントの話題で持ちきり。頃はよしと前原先輩が立ち上がり、“愛の賛歌”、“ラストダンス”を手始めに次々とラブソングを披露し大喝采を浴びていた。各テーブルでは今年の計画や抱負など話題は尽きない。麻生先輩より“西北会は楽しくて最高。本年も頑張りましょう。”という中締めのことばで再会を約して散会とした。

(桃井 清治 / 記)

# 部会だより

## レディースクラブ

平成26年1月21日(火)ロビンズクラブにてレディースクラブ発足記念パーティが開催された。(詳細は1面を参照)

柏代表世話人

露木さんを囲んで

寺澤副代表世話人

辻村副代表世話人

## 青　年

3月7日の金曜日に青年部会を渋谷のスペイン料理『カトルセ』にて開催致しました。

今回初めての薄井さんを含め計14名が参加。この1月で発足してから4年が経ち、ほとんどのメンバー同士は顔見知りで堅苦しい雰囲気は全くなく、またビールやワインはもちろんのこと、スパークリングワインやサングリアそしてシェリー酒まで飲み放題ということもあっておおいに盛り上がりました。誰とは申しませんが、幹事役が一番飲んで途中居眠りするという冴えないおちまでありましたが、たいへん楽しい会でした。

次回は7月頃の予定で、雪のちらついた今回とは趣向を変え暑気払いを兼ねた会になると思います。新入会員はいつでもおおいに歓迎いたしていますので、どうぞ気軽にお問い合わせください。　(池松　正之 / 記)

## 食べ歩き

平成25年12月8日、第58回部会は新装なった東京駅舎内の「東京ステーションホテル」4階ゲストラウンジにおいて51名の参加者により開催された。

当ホテルは、平成24年秋、創建当時の姿に蘇った東京駅と共にリニューアルされ、このラウンジは宿泊者専用として新たに設備されたものである。駅舎の躯体を利用した広々とした空間と洗練された調度。壁面の一部には大正4年開業当時のままのレンガを露出させて装飾として用いており、このホテルの歴史と伝統の一端を垣間見ることができる。

加藤隆夫氏の明快な司会により前原祖彦氏(昭25卒)の食事と人生についてのお話とそれに続く乾杯のご発声に始まった宴は、いよいよ佳境に入る。

この日の料理はホテル伝統のフレンチのフルコース。メインディッシュは、シェフの長年の経験と工夫が生み出した芳醇な香りとまろやかな味わいの絶品のビーフシチュー。

和やかな懇談の後は、岩上健一会長の指揮のもとに、声高らかに校歌を斉唱し散会した。

(松尾　守 / 記)

## 芸術芸能鑑賞

今年は寒さが厳しかったが、年末から陽春4月までのイベント紹介は数多く行なった。

師走12月28日に三越師走寄席は春風亭一朝一門の出演で流石に芸達者揃いで楽しめた。

新年1月29日には「第577回三越落語会」に10名参加。2月10日には「KIKO／JOSEF　DUO RECITAL」に横浜みらいHで4名。3月には21日に会員花田玲子さん出演の「ポピュラーミュージックコレクション」[日比谷公会堂]に6名。26日には「三越落語会」落語協会会長の小三治他に13名が参加した。4月には会員・岡村さんのライフワーク「岡村喬生・冬の旅」は会場も新たに津田Hで12日に4名が楽しんだ。14日には元会員の「池澤　彩　春の午後のコンサート」は久し振りのコンサートであり5名が内幸町Hでのシャンソンを鑑賞した。5月6月は歌舞伎と文楽の案内を予定している。新入会員は確実に増えている。

(鈴木　宏治 / 記)

## 俳　句

毎月第4月曜日の午後2時から日下野由季先生(早稲田大学で現代俳句講座を担当)の指導により開催されています。新年初句会(初暦)と2月(下萌)及び季節に相応しい俳句の中から高得点句を紹介します。俳句に興味のある方には句集を送りますので連絡して下さい。ホームページでも閲覧できます。　(江原　利次 / 記)

古釘にかけて明るき初暦　松尾　守
初暦百年を経し家に棲み　沼田宣子
小吉の結ぶ高みの冬木の芽　田中　勝
夫の地がふるさととなり雑煮煮る　家井雪子
一枚は仏間に残す晦日蕎麦　暮田忠雄

## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日午後1時～5時
於：BIGECHO 下北沢駅前店
・第80回11月2日　行く秋に恋心を歌う。12名（3室）
・第81回12月7日　年末第九合唱を歌う。17名（3室）
■<新年会>第82回1月5日(日)午後1時～5時
於：千歳船橋「マダムチョウの店」18名

【リクエスト曲一覧表】―各人3曲計52曲熱唱！―
♪愛燦燦・夜明けのうた・街の灯・コモエスタ赤坂・アマン・さらばシベリア鉄道・南部蝉しぐれ・ダンシングオールナイト・大志・若しもピアノが弾けたなら・ノラ・MyWay・祝い舟・新妻に捧げる歌・夢日記・早春賦・北帰行・愛の終着駅・ベサメムーチョ・北の宿・Jジェイ・今日でお別れ・ノラ・勝手にしやがれ・博多アラモード・コーヒールンバ・花のように鳥のように・千の風になって・くちなしの花・松の木小唄・♪他

（倉田　豊／記）

## スポーツ観戦

行き付けの理髪店で順番待ちのためスポーツ新聞(3・7付)を見ていたら、明るい記事が目に入った。米国に遠征中の早大野球部が5日(ロサンゼルス)のカリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)とのオープン戦で接戦の末、2対1で勝利。この試合、終盤3イニングにエースの有原航平投手が登板、剛腕で打者をねじ伏せ無安打・無失点に抑える好投を見せ勝利に導いた。しかも、全投球28球中20球がストライクで、この時期異例とも言える最速155キロをマークしたとのこと。昨年早大は春・秋共優勝を逃したがこの記事を見て今年は大いに希望が持てるという期待感を抱かせた。

春季リーグ戦は4月12日(土)に始まる。会員のみなさんには早慶1回戦観戦会のご案内を後日お送りしますが、早慶戦に限らず他校との試合でも神宮球場に足を運び、昨年以上の応援を期待いたします。

＊UCLAは昨年の全米大学選手権の優勝校とのこと。　　(川村　保夫／記)

## ウォーキング

毎月開催されるウォーキングも2月は残念ながら春の大雪のため中止となりました。3月16日(日)は暖かな春の陽気に恵まれ、練馬駅午後1時に17名が参加して円光院、長命寺、石神井川沿いの散策、最終目的地の石神井公園へと約8キロのコースを休憩を取りながら3時間掛けて楽しみました。

尚、新年度2014年4月～2015年3月の年間スケジュール表（毎月の実施日、集合場所、コース明細等を記載）はホームページで紹介してあります。健康の第一歩は歩く事から始まりますので気軽に参加してみて下さい。　　(江原　利次／記)

## 麻雀

(1) 平成25年11月10日(日)、21名が集い口と腕を縦横に駆使して順位を競った。今回も僅差の戦いとなり最終回の点差が順位を左右するという展開になった。優勝田島功統、準優勝阿部信之、3位原明

(2) 平成25年12月14日(土)、来年の運勢を占うべく28名の腕自慢が集い優勝を争った。試合は最初から飛ばした奥田氏が必死に追い縋る郡山、阿部両氏を僅差で退け賜杯を手にした。優勝奥田隆、準優勝郡山弘文、3位阿部信之。試合後、恒例の有志による忘年会を開催、大いに盛り上がった。

(3) 平成 26 年 1 月 18 日(土)、屠蘇機嫌のさめやらぬ 20 名が初打ちを実施した。前半苦戦した大ベテランの宮木氏が後半大暴れし、並み居る若手をごぼう抜きして優勝した。優勝宮木甫、準優勝奥田隆、3 位河内文雄

(4) 平成 26 年 2 月 8 日(土) 大雪警報が発せられ、雪による交通機関の混乱により欠席者が相次いだ。試合は後半尻上がりに実力を発揮した橋本氏が三桁の大量得点を挙げ大差をつけて優勝した。優勝橋本大道、準優勝中村晃二、3 位奥田隆　(下谷内　堯 / 記)

## 釣り

平成 25 年 12 月 17, 18 日新宿よりの新入会の落語家甚語楼君 (H4 法 ) と伊豆城ケ崎海岸の磯、川奈、赤沢堤防でメジナ釣り。外道にボラ、舞鯛、アイゴ。

12 月 23 日剣崎下浦沖へ久比里山下丸よりカワハギ釣り。5 名参加、竿頭 13 匹。

平成 26 年 1 月 14 日新年会を京橋中華料理店新世界にて 10 名参加で行う。

1 月 26 日東京湾中の瀬へキス釣り。寒さの為 3 名参加のみ。20 匹前後の不漁。前日、半日釣りでトップ 128 匹であったと川崎つり幸の言。

2 月 23 日剣崎沖真鯛、鯵釣り、間口港利一丸より 6 名参加、真鯛出ず、イサキが若干、鯵も小型のみで不漁であった。

3 月より沖釣りは真鯛の乗込み。内水面はマブナ乗込み。渓流釣りが始まり、1 日に 40ｃｍの岩魚、33ｃｍのニジマスを釣る。　(柴田　昇 / 記)

## 写真

写真部会では最近は皆さん作品のレベルとプリント技術が上がり、素晴らしいプリントを毎回 A4 サイズまたは A3 サイズのプリントを色々と工夫して見せたり、各社のレンズをアダプターを介し同一カメラで撮影し、その結果をプリントし報告したりします。特に皆さんは例会後の昼食会で撮影方法、カメラ、レンズ、プリント等に関する情報や質問が出て、会話が弾み楽しい会話で知識を増やしています。写真に興味をお持ちの方は一度例会と昼食会に参加されませんか。歓迎致します。

(1) 例会実績報告

例会：10 時～ 13 時 30 分 東京農大校友会館 教室 (通常は第 3 木曜日)

2013 年 11 月 20 日、12 月 19 日、2014 年 1 月 16 日、2 月 20 日

(2) 今後の予定

2014 年 3 月 19 日、4 月 17 日、5 月 15 日、6 月 19 日。　(種谷　鴻成 / 記)

## ゴルフ

A) 平成 26 年ゴルフコンペ日程

| | | |
|---|---|---|
| 第 78 回世田谷稲門会 | 3 月 27 日 (木) | 中津川 CC |
| 第 9 回稲門会・三田会 | 5 月 20 日 (火) | 相模 CC (三田会主催) |
| 第 79 回世田谷稲門会 | 6 月 3 日 (火) | レイク相模 CC |
| 第 80 回世田谷稲門会 | 10 月 8 日 (水) | 富士国際 GC |
| 第 81 回世田谷稲門会 | 12 月 3 日 (水) | 桜ヶ丘 CC |

B) 第 77 回世田谷稲門会ゴルフコンペが 54 名の参加を得て 12 月 3 日に桜ヶ丘 CC にて開催されました。当日は快晴微風、師走とは思えない絶好のゴルフ日和の下熱戦が展開されました。グリーンが速く、ピンの位置も難しくパットに苦労された方が多かったようです。

優勝は戸田昇さんで今まで聞いたこともない二大会連続優勝の快挙でした。わずかの期間でハンディが一気に半分となりました。グランドシニア優勝は 1 月に 87 歳となられた参加者最高齢の小倉康弘さん、シニア優勝は加藤滋紀さん、レディース優勝は浜田昭子さんでした。

C) 新入会員の勧誘ご協力のお願い

ゴルフ部会の人数はここ数年 90 名前後で推移しておりますが、若い方や女性会員の方が増えておりません。是非とも周りの準会員の方やお友達を誘って頂ければ幸いです。　(工藤　隆司 / 記)

## パソコン

平成25年11月25，26日秋季温泉教室を神奈川県丹沢大山国定公園の七沢温泉で開催しました。参加者は6名で元湯「玉川館」に宿泊し翌日は近くの日向薬師をめぐり温泉・紅葉・地酒を堪能しました。

12月10日最終の定例会と忘年会開催。

平成26年に入りこれまで1月は14日､28日 2月は11日､25日定例会が開催されました。主な勉強課題は「カレンダー作成」、「ラベル作成」、画像加工ソフト「paint.net」の利用方法、「パワーポイント」のインストール及び利用方法等でした。

(岩城　好宏／記)

## 将棋囲碁

囲碁部

平成25年11月30日(土)～12月1日(日)に「ふじみ荘」において目黒、大田との合同碁会を開催しました。世田谷12名、大田8名、目黒3名、総勢23名の参加でした。

平成26年3月29日(土)～30日(日)に、かねてより誘われていた杉並との合同碁会を「ふじみ荘」で開催しました。世田谷13名、杉並9名、総勢22名で棋力別に4リーグにわけての賞品つき真剣勝負です。

昨年から他地域および他校に声をかけ、今後もどんどんにぎやかで楽しい会にしていきます。

(池松　正之／記)

# 会員の広場

## 東方海路

田中正文(昭46政経)

二年ほど前、会社勤務生活を終え、憧れていた自由人暮らしに入りました。

趣味娯楽を中心として、贅沢に時間を使う生活を楽しんでいます（お金は贅沢に使えませんが）。その中で続けているのが、国際定期フェリーによる海の旅です。

現在日本と海外をつなぐ国際定期フェリーは、中国の上海（大阪から）、チンタオ（下関から）、韓国のプサン（下関、博多、大阪から）、トンヘ（境港から）、ロシアのウラジオストック（境港からトンヘ経由）、サハリンのコルサコフ（稚内から）、以上3カ国6港と結ばれています。これまで上海を残して5つの港への船旅をしましたが、今回は昨年8月、境港からトンヘ、ウラジオストックへの航路で頭に浮かんだ、海の道のお話です。

フェリーは鳥取県の境港を夕方出航し、翌日韓国東岸のトンヘ着、数時間のトンヘ滞在で再度乗船。ここからまた船中に一泊してウラジオストックに向かいます。トンヘ出港後夜遅く、デッキでトンヘの町で買い込んだソジュ（韓国焼酎）を飲みながら星空を見ていたところ、すでに北朝鮮沖を航行中でしたが、小さな船の明かりが何隻も目に入ってきました。おそらく北朝鮮の漁船でしょう。大型フェリーが航行する大海に、こんな小船で、と思ったとき、ふと太古の人たちもこのような小船でこの海を渡ったのではないか、との思いが頭をよぎりました。

古来、半島と列島をつなぐ海路は、対馬壱岐を経由し、北九州に至る、魏志倭人伝の海路が有名です。しかしこの半島の北部から、日本海に浮かぶ島、鬱陵島、竹島、そして隠岐の島を経由し、出雲に至る海路があったとしてもおかしくありません。

日本神話、スサノオ、オオクニヌシは出雲の海の神様です。ひょっとしたら、この海路で渡来した半島の人たちと何か関係があるのかもしれません。今回経験した海路を魏志倭人伝海路に対し、東方海路と勝手に名づけ、神話の世界、日本誕生の物語に思いを馳せている今日この頃です。

現代の航路に見つける古代の海の道。国際定期航路の旅の楽しみの一つです。

## 「ゴルフカートを利用した現代版エコライフ」

原　貴則(昭54商)

89年末から96年春まで、ジョージア州アトランタ近郊のピーチツリーシティという人口約3・5万人の街に暮らし、帰国後は、アトランタに本社を置く会社に勤務して日米間を往復してきました。アトランタではジョージア稲門会に加入し、稲門会の様々な親睦行事（バーベキュー・納涼船・稲門定例ゴルフ・早慶戦等）に、家族とともに楽しく参加させていただきました。

今回は、「ゴルフカートを利用した現代版エコライフ」に関する体験をご紹介させていただきます。

自宅があったピーチツリーシティでは、50年以上前からゴルフ場の外にもカートパス（小路）の建設を開始し、今では、全長約150㎞にもなるカートパスが完成しています。また、高速の車が走る州道との交差には、カート専用橋が架けられ、全体の安全運行にも十分な配慮が行われています。全所帯の約半数が自分のカートを所有し、電動自転車と同じ感覚で、買い物・食事・郵便局・市役所・ホームドクター等へと、第二の移動手段として市民に定着しています。当然、カートに対する交通法規や税も整備されました。

夕暮時になると家族全員でカートに乗って散歩や食事に出かけ、帰宅後には、ガレージ内にある通常のコンセントにカートの電源を繋いで充電します（最近車のCM等でよく見かけるシーンですが）。市内に複数のカート専門店が開店していて、ワイパー・ヘッドライト・扇風機・保冷庫設置等と、いろいろな希望に対応できるシステムはキャンピングカーに似ていると思いました。

圧巻は、市内に数か所あるゴルフクラブの競技会です。クラブのカートを使用するメンバーもいますが、自分のカートで参加するメンバーも多く、各ホールに異なるカートが4台走って行く光景をみることになります。ゴルフクラブまで5分程のところに住んでいた私も、マイカートで参加していました。

最後に、こうしたメリットを最大限享受したのは、妻であり、現地クラブの女子トーナメント優勝者プレートに刻印された妻の名前を見るにつけ、20年以上ゴルフをしても、全く進歩しない我がゴルフを振返り、ゴルフは、諸先輩や友人と時間を共有できることにこそ意味があると考えている昨今です。

## 電気事業と原発

渡邉義治（昭33理工）

平成23年3月11日、あの日からもう丸3年である。私自身の個人的な事情もあって、決して忘れえぬ〝日〟「3・11」である。

その時、私は田園都市線用賀駅の改札を出て、駅ビル（SBSビル）への地下通路を歩いており、地震の揺れを感じとり急ぎ帰宅した。そしてTVニュースに噛り付いた。

間もなく「福島第一原子力（発）も被害を受け、事故停止」のニュースに接し、以降この関係のニュースに心身が振り回され続けて行った。その3～4日後頃から私の持病「心房細動」が急速に悪化し重症レベル迄に至り、特別治療を受ける事態になってしまった。

福島第一原発には〝若いころからの特別な思い〟が有った。東京電力在職中の大半の職務が電力供給基幹系統の計画・建設・運用関係であった。その中で原子力発電所はベース電源であり、自ら常に電力系統の拠点として位置づけられて取り扱われていた。その最初の拠点の「福一」が〝原子炉の炉心溶解〟までに至ってしまったのである。

そして〝若い頃の思い出〟は、「福一・一号機」の実施設計から建設の段階で出力送電設備の引出部に我が国初の「275kV大サイズ電力ケーブル」を入れたことである。

その当時、超高圧ケーブル技術を都内基幹設備に初適用すべく技術導入をしていたのが、地中線建設所電気課超高圧推進班（班長が私・渡邉）のみであり、そのため現地に業務応援に出向したのである。

そのような事は兎も角、東京電力は全社を挙げて、特に現地に「福島復興本社」の体制を敷くほか、「廃炉、賠償、除染、そして復興推進」へと懸命に努力をされておられる。

更に慎重にかつ的確に対応し行動すべきこととしては、従前から国内の一部世論や社会的な動きとして、原子力発電に対する反対と再生可能エネルギーの活用推進の声が、今回の事態を契機として一層強くなりつつあることである。また発電、送電、供給の事業分離とそれぞれの自由化の動きも強くなりつつある。

このような動きに私自身は必ずしも反対ではないが、深く慎重に検討を十分した上での具体化の動きを求めるものである。

## 編集後記

平成26年、今年は東京でも大雪が降るなど異常気象の予感がします。

さて、2月9日に新宿で開催された新春懇親会でも大雪の影響で足元に雪だまりやぬかるみが多くみられ、移動に難儀しました。年配者が多いので欠席者が増えるのではと心配しましたが、さほどでもなく一安心でした。

新春懇親会では「神の手」といわれる脳外科医の福島教授にお話しをしていただき、大変興味深い脳の健康の話題で盛り上がりました。

会報編集委員でもある寺島さんが所属する「東京オールドボーイズ」ジャズバンドは福島先生がリーダー兼ドラムスを担当しており、懇親会の最後までご参加いただき、校歌斉唱の伴奏までしていただきました。

おかげで懇親会は近年にないくらいの盛り上がりでした。小生も慣れない司会を担当し、無事に終了できたことは、幹事の皆さんや来場いただいたすべての皆様のご協力によるものと感謝しております。今後とも楽しい企画を幹事会として盛り上げ、その内容を楽しい紙面でご報告してゆきたいと思っております。

（榎並　俊一／記）

# 世田谷稲門会　会員異動状況　　平成26年3月10日現在

〔新入正会員〕

| 氏名 | 卒年 | 学部 | 郵便番号 | 住所 | 電話 | FAX |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 広瀬　哲哉 | 昭50 | 政経 | 157-0066 | 世田谷区成城3-15-1 G-405 | 080-1240-8198 | |
| 佐々木　宏機 | 昭40 | 政経 | 157-0073 | 世田谷区砧8-32-23-305 | 03-3416-3709 | 03-3416-3709 |
| 田村　逸朗 | 昭52 | 理工 | 154-0012 | 世田谷区駒沢3-5-11 | 03-3410-3511 | |
| 清水　泰治 | 昭41 | 商 | 155-0032 | 世田谷区代沢2-24-3 | 03-3413-1888 | 03-3413-1888 |

〔新入準会員〕

| 正会員名 | 準会員名 | 郵便番号 | 住所 | 電話 | FAX |
|---|---|---|---|---|---|
| 薄井　好雄 | 薄井　裕子 | 157-0071 | 世田谷区千歳台2-29-30-304 | 03-3789-7068 | |
| 若林　昭男 | 若林　浩子 | 154-0016 | 世田谷区弦巻4-3-20 | 03-3427-9857 | 03-3427-9857 |
| 渡邊　義治 | 渡邊　佳子 | 158-0098 | 世田谷区上用賀1-1-13-103 | 03-3700-0817 | 03-3707-9105 |

〔退会会員〕

| 氏名 | 卒年 | 学部 | 理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 布川　欽士 | 昭25 | 理工 | 自己都合 | |
| 高橋　四郎 | 昭45 | 社会 | 2013年4月ブロック退会 | |
| 石井　孝之 | 昭30 | 商 | 2013年11月21日逝去 | |
| 三浦　基 | 昭48 | 文 | 自己都合 | |
| 近堂　和明 | 昭47 | 商 | 杉並稲門会に移籍 | |
| 高葉　宏 | 昭33 | 法 | 体調不良 | |
| 斉藤　純子 | 昭40 | 教 | | |
| 世良　幹夫 | 昭46 | 商 | | |
| 後藤　孝雄 | 昭34 | 商 | 渋谷区に転居のため | |
| 伊東　照雄 | 昭36 | 政経 | | |
| 黒岩　千鶴子 | 昭36 | 文 | 一身上の都合 | |
| 北田　韶彦 | 昭44 | 理工 | 一身上の都合 | |

〔退会準会員〕

| 正会員名 | 準会員名 | 理由 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 和田　全正 | 和田　和子 | | |

〔住所変更・訂正〕

| 氏名 | 卒年 | 学部 | 郵便番号 | 住所等 | 電話 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 宍戸　和夫 | 昭54 | 商 | 986-2135 | 宮城県石巻市渡波字黄金浜145 グランシャトルⅡ205 | 080-2447-2108 | 宮城県任期付職員として牡鹿郡女川町復興推進課に勤務。任期満了後、世田谷区に戻る予定 |
| 依田　稲道 | 平10 | 人科 | 161-0033 | 新宿区下落合3-2-6 ロイヤルステージ目白102<br>todo.sanngenjaya@i.softbank.jp | 090-4200-6794 | 電話番号・メールアドレスも変更 |
| 飯田　保則 | 昭60 | 文 | 158-0097 | 世田谷区用賀4-25-2 | 03-3700-7990 | |
| 小林　浩 | 昭49 | 理工 | 292-1179 | 千葉県君津市豊英335-10 サン・ラポール南房総2番館 1001号 | 0439-38-2283 | |
| 河西　英治 | 昭53 | 理工 | 157-0066 | 世田谷区成城2-27-2 | 090-1508-4746 | |

〔その他変更・修正〕

| 氏名 | 卒年 | 学部 | 修正箇所 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | メールアドレス | 電話 | FAX | その他 |
| 水口　拓 | 昭38 | 法 | minotaku@mist.ocn.ne.jp | | | メールアドレス追加 |
| 天野　善弘 | 昭39 | 法 | y.ama@nifty.com | | | メールアドレス追加 |
| 下山　芳男 | 昭49 | 商 | yoshio4122@shimoyama.jp | | | メールアドレス追加 |
| 畑　公一郎 | 昭48 | 政経 | koichiro@hatas.jp | | | メールアドレス追加 |
| 後藤　保則 | 昭39 | 商 | yaki-goto@beach.ocn.ne.jp | | | メールアドレス追加 |
| 池田　友彦 | 昭62 | 文 | | | | 卒年修正　昭61→62 |
| 綱島　真 | 昭37 | 理工 | 世田谷区世田谷2-21-11-206 | | | 住所修正 |
| 大村　岳一郎 | 昭46 | 理工 | g-ohmura@cf7.so-net.ne.jp | | | メールアドレス修正 |

事務局からのお願い；
会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当　篠崎　章子　　電話＆ファックス　03-3305-4650　　e-mail；shinoshoko@gmail.com